

## 令和4年度における仙台市域の温室効果ガス排出量の概要（速報値）

### (1) 温室効果ガス排出量およびエネルギー消費量

令和4年度（2022年度）の排出量（速報値）は708万t-CO<sub>2</sub>となり、令和3年度（2021年度）と比較して3.9%減少、基準年である平成25年度（2013年度）と比較して22.3%減少しました。

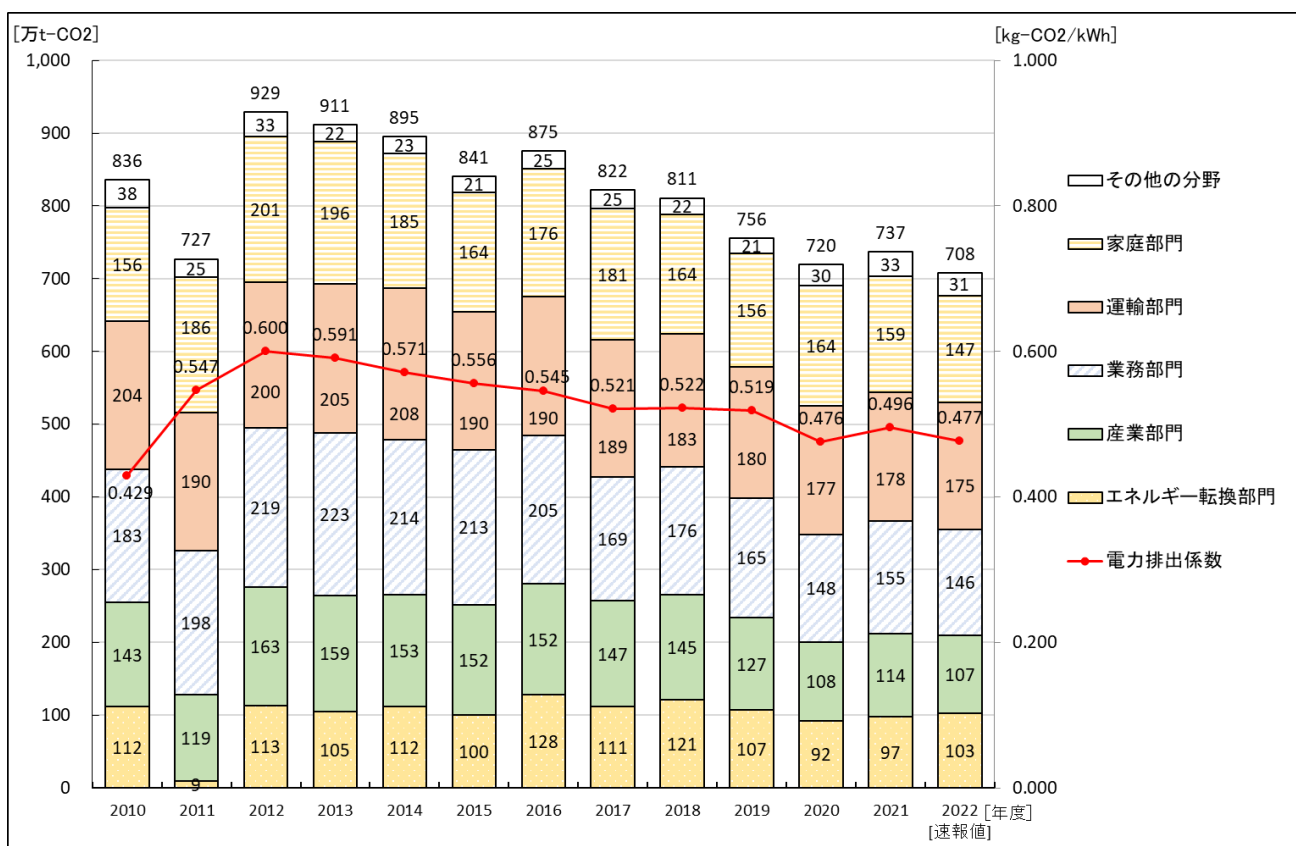


図1 仙台市域の温室効果ガス排出量の推移

#### ※推計方法について

温室効果ガス排出量は、国・県・業界団体等による各種統計資料をもとに推計するものですが、それらの資料の公表まで一定の期間を要することから、統計資料の一部を前年度同値で仮置きする等して算出したものが「速報値」です。なお、統計資料の公表に伴い、過年度も再推計した排出量に修正しています。

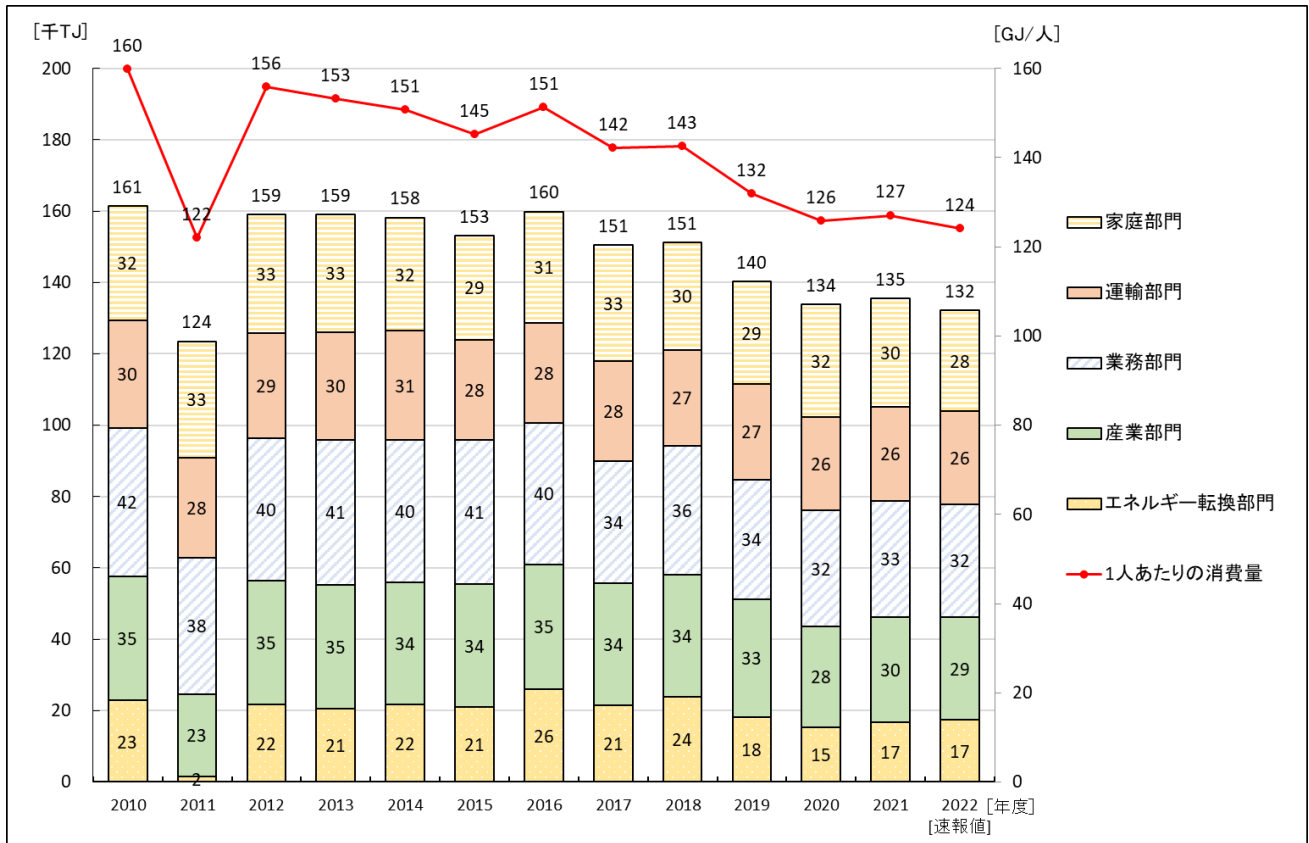


図2 仙台市域のエネルギー消費量の推移

(2) 温室効果ガス排出量の構成比（全国と仙台市の比較）

温室効果ガス排出量の大部分を占めるエネルギー起源二酸化炭素の部門別割合を全国と比較した場合、仙台市は産業部門の割合が低く、業務部門、運輸部門及び家庭部門の割合が高いことがわかります。これは、仙台市は大規模な製造業が少なく、オフィスでの空調や自動車の利用、家庭での給湯・暖房などのエネルギー消費が多いためと考えられます。

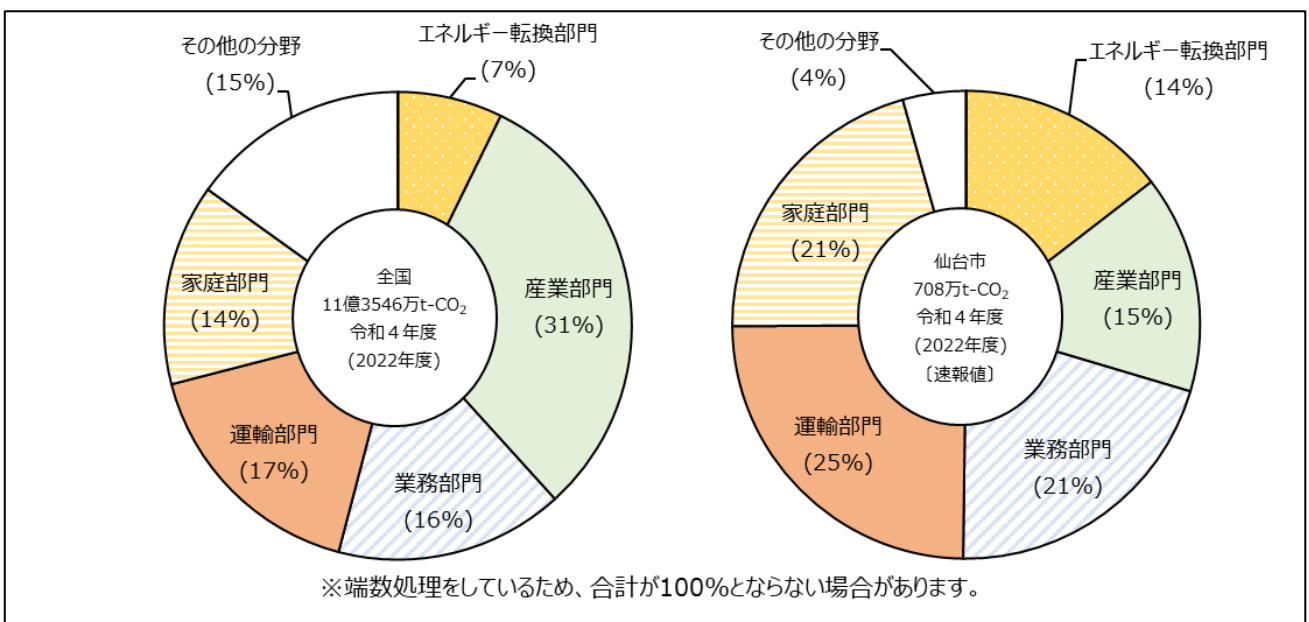


図3 温室効果ガス排出量の構成比（全国と仙台市の比較）